

1 事故報告の内訳

件数	転倒	転落	介助中	交通事故	誤薬・与薬もれ	誤嚥・窒息	その他	不明
97	48	11	6	2	7	2	9	12
	49.5%	11.3%	6.2%	2.1%	7.2%	2.1%	9.3%	12.4%

※転倒、転落、介助中のケガの状況

	骨折	打撲	切傷・擦過傷	腫脹	脱臼	死亡	その他	特になし
転倒	31	9	4	0	0	0	2	2
転落	6	0	4	0	0	0	1	0
介助中	3	1	0	0	0	0	1	1
合計	40	10	8	0	0	0	4	3

※転倒、転落、介助中の介護度

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	自立
転倒	1	2	4	14	16	10	1	0
転落	0	0	1	0	3	6	1	0
介助中	0	0	1	1	1	3	0	0
合計	1	2	6	15	20	19	2	0

2 月別・時間帯別発生件数

月	合計	内訳			
		午前	午後	19:00~8:00	不明
4	10	2	3	5	0
5	9	0	4	5	0
6	8	4	2	2	0
7	6	3	2	1	0
8	8	4	1	3	0
9	7	1	2	4	0
10	6	2	2	2	0
11	13	3	6	4	0
12	10	2	5	3	0
1	11	3	4	4	0
2	6	3	1	2	0
計	94	28	32	37	0

3 事故発生場所

合計	居室	トイレ	廊下	食堂等	浴室	機能訓練室	その他	不明
97	42	5	10	19	6	1	14	0

4 年齢・男女別発生件数

合計	65歳未満	65～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100以上	
95	1	6	5	13	20	30	20	0	
男	27	1	6	2	5	2	5	6	0
女	68	0	0	3	8	18	25	14	0

平均年齢 88.46歳

5 サービス別発生件数

サービス種類	件数	割合	内訳（抜粋）			
			転倒	転落	介助中	誤薬
訪問介護	0	0.0%	0	0	0	0
通所介護(地域密着含む)	14	14.4%	6	3	0	0
通所リハビリテーション	3	3.1%	2	1	0	0
福祉用具貸与	0	0.0%	0	0	0	0
短期入所生活介護	10	10.3%	8	0	1	0
特定施設入居者生活介護	4	4.1%	3	0	0	0
介護老人福祉施設	29	29.9%	16	2	1	0
介護老人保健施設	9	9.3%	8	0	0	0
認知症対応型共同生活介護	12	12.4%	3	1	0	0
小規模多機能型居宅介護	7	7.2%	5	0	1	0
地域密着型介護老人福祉施設	4	4.1%	1	1	1	0
養護老人ホーム	3	3.1%	2	1	0	0
有料老人ホーム	0	0.0%	0	0	0	0
サービス付き高齢者向け住宅	2	2.1%	1	0	1	0
合計	97	100%	55	9	5	0

6 事故発生から報告までの日数

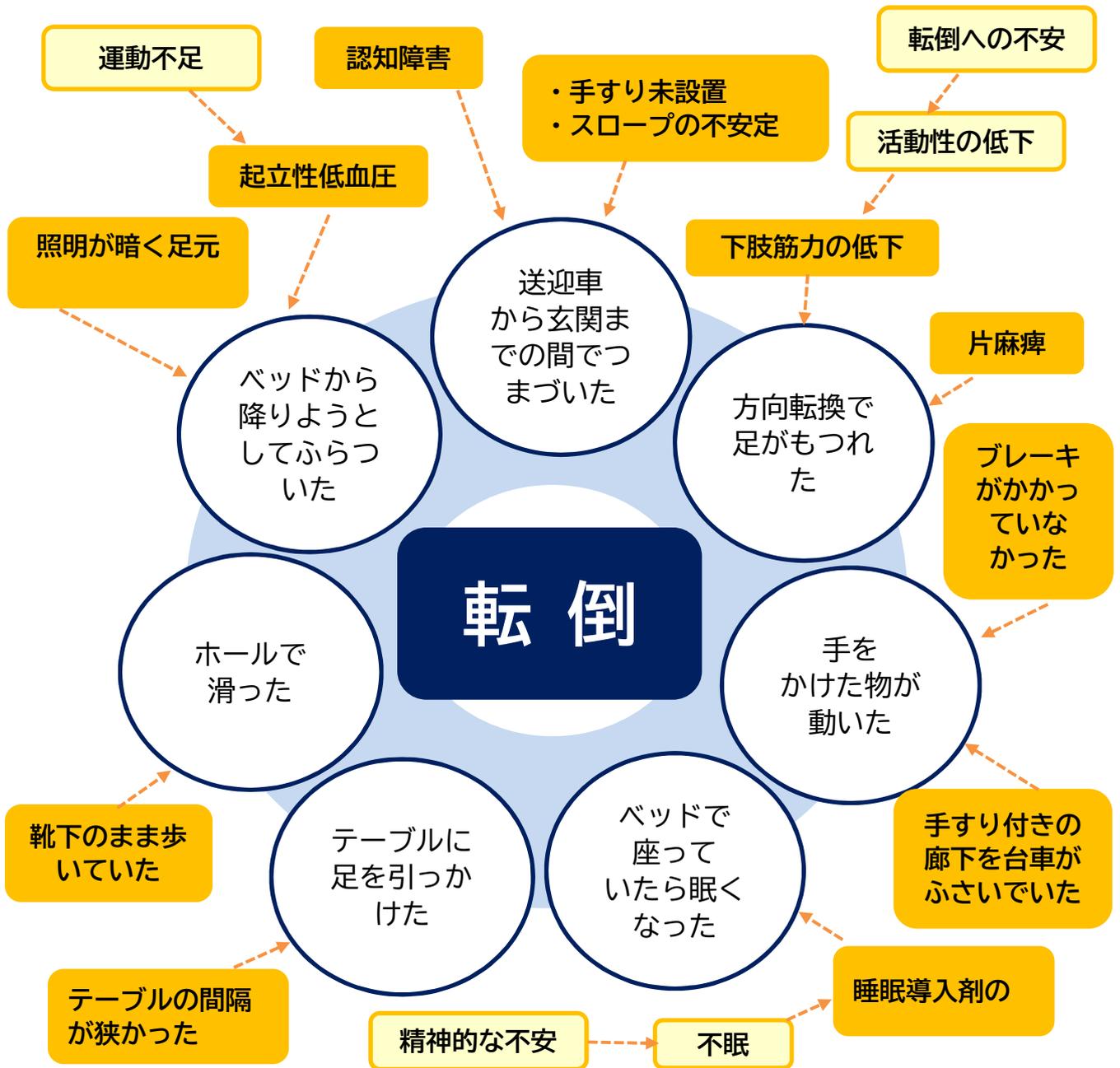
平均	最短	最長
7.06日	0日	165日

15日未満	内5日以内	15日以上	内30日以上	内60日以上
89件	65件	8件	2件	1件

※地域密着型サービス運営基準第3条の38（各サービス準用）

- 1 事故が発生した場合には、市町村、当該利用者の家族、当該利用者に係る居宅介護支援事業者等に連絡を行うとともに、必要な措置を講じなければならない。
- 2 前項の事故の状況及び事故に際して採った処置について記録しなければならない。（記録は、大田原市条例により5年間保存すること）

原因や背景の分析



<分析>

- ・ 事実：いつ、どこで、誰に、何が起きたのか
- ・ 原因：何がきっかけで起きたのか
- ・ 背景：なぜそのような状況が生まれたのか
- ・ 予防：どのような対策を立てれば防げるか（計画・工夫）

<視点>

- ・ 利用者（例：薬の影響はないか、運動機能は落ちていないか）
- ・ 職員（例：思い込みがなかったか、情報は共有されていたか）
- ・ 施設（例：床は歩きやすかったか、ブレーキの甘い機器はないか）